

ひと・まち・自然

トラまちPress (一財) 世田谷トラストまちづくり情報誌

December 2024

Vol. 23

特集

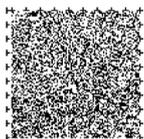
想いをつないで、
未来になぐ

vol. 1 読書空間みかも

vol. 2 成城三丁目緑地里山づくりコア会議

vol. 3 フラワーランド友の会

vol. 4 野鳥ボランティア



上の「音声コード」に、本誌の概要を記録してあります。
専用の読み上げ装置を使用して、音声で内容聞き取ることができます。

写真：読書空間みかも

interview vol.2
先輩から後輩へ
バトンタッチ!

成城三丁目緑地
里山づくりコア会議



湧水や様々な植物、昆虫、水生生物など国分寺崖線の豊かな自然が残る「成城三丁目緑地」。「成城三丁目緑地里山づくりコア会議」(以下「コア会議」)は、この地域に70年近く暮らし、みどりの保全活動や活用に尽力してきた栗林勝彦氏を代表として、2001年に発足。緑地の保全・管理をおこなっている。加えて近隣の明正小学校などの体験学習、企業の社会貢献への機会も提供している。2024年に代表を引き継いだ馬場ミカさんに、活動の様子や将来につなげていきたいことについて、お話を伺った。

参加のきっかけは

ご息との会話や地域とのご縁

馬場さんは、10年ほど前、当時高校生だった長男と進路の話をしていたとき、「お母さんには何かやりたいことはあるの？」と聞かれ、その一言がコア会議への参加につながったという。子どもたちとこの緑地に遊びにきたり、明正小学校PTAとしてコア会議の活動をお手伝いしたことがあったり。「そんなご縁もあり、身近な自然に関わるボランティア活動をやってみようかなと思いました」。

代表を引き継いだきっかけ

緑地の保全活動に参加して10年ほどが経ったとき、栗林さんから代表を引き継がないかとお話があった。

「ほかにも長く活動に関わっていらっしやる諸先輩方から『応援するよ』とエールをいただいたので、じゃあ引き受けようかなと」。また「里山では多様な生命の、いのちのつながりがある。自分たちの生きている環境、空気、水、食べ物、すべての生きものがつながっていること、大きな生態系の中に自分たちがいることを、里山を通じて感じ取ってほしい」と栗林さんが繰り返し子どもたちにお話しされているのは素敵だなと思っています。

馬場さんは「記録係になろうと思うて」と言う。「メンバーの想いや技術、

知識などを記録しています。また国分寺崖線のことやコア会議の活動の記録、ホームページやSNSなどでの情報発信にも取り組んでいます」。

里山での活動を長く続けるコツとは？

代表の仕事も加わった馬場さんだ

が、「以前肩を痛めてしまっって、作業の役に立たなくてすみません、と言ったら、『一番上等な仕事はね、そこに座ってみんなの荷物の番をすることだよ』と言ってもらって。細々とでもいいから、今できることをやるのが続けていくコツかなと思っています」。

活動の中に楽しみや喜びがあるのも、続けられる理由。「『懐かしいなあ』と里山授業に来た子どもたちが遊びにきてくれるのが嬉しいです。そう

いう子どもたちが将来コア会議に参加してくれたら。そんな期待も活動を続けられる目標の一つですね」。

緑地への興味と深い理解を多くの人につなげていきたい

国分寺崖線の模型の作成や標本の収集・整理は、コア会議では馬場さんが始めた。

「模型や標本があると、子どもたちにも、先生も含めた大人たちにも成城三丁目緑地への興味と理解につながるかなと思います」。今後は「子どもたちと一緒に模型を作ってみたいですね」と語る。

「成城学園前の駅から徒歩10分で国分寺崖線の起伏に富んだ風景がみられます。ぜひ一度お越しいただき、四季折々の生きものや、植物に興味をもつていただければと思います」と見どころを教えてくださいました。



▲成城三丁目緑地内に湧水がある。区内でも屈指の湧水量。1年を通して枯れることがない。



▲馬場さんお手製の模型たち。国分寺崖線や地層など、「目で見て」「手で触って」体験できる。先生や子どもたちの反応がよかったので、「それなら」と作っていったら、いつのまにか増えていた。小学校の里山授業の振り返り学習などにも使用されている。

成城三丁目緑地里山づくりコア会議

国分寺崖線の保全と活用をテーマに、地域住民、明正小学校、世田谷区、(一財)世田谷トラストまちづくりが協働で、成城三丁目緑地の保全活動を行っています。多くの人が自然と積極的に関わり、多様な生物が息できる環境づくりを進め、次世代に引き継いでいく。「人と人」「人と自然」の関わりを紡ぎ直すことを目指した「都市型の里山づくり」活動です。

活動内容など詳細については右記二次元コードから



成城三丁目緑地里山づくりコア会議について詳しく知りたい方はこちら



公式 HP



X(旧Twitter)

interview vol.3
つなぐれ！
花好きの輪！
フラワーランド友の会



フラワーランドの活動に参加したきっかけ

ハーブ古賀…花を見て愛でるだけじゃなくて、自分でも草花を育ててみたいなどと思い、「花づくり教室」(以下「教室」)に通い始め、その延長で今の活動を続けている、という感じですね。

ハーブ山田…私はガーデニングが好きで、庭にラベンダーを植えたのがきっかけでちゃんと学びたいな、「教室」に通い始め、やはりその延長です。

コンテナ山田…私の父が園芸好きで、その影響が大きいです。「教室」課程を終えてもう少し続けたいな…。引き続き花とみどりの相談員など園内スタッフの方々に相談できるのも大きかったかな。

活動で感じている「やりがい」は？

ハーブ古賀…草取りかな。雑草もがんばって生きているわけですが、やはりハーブが元気に育ってくれるためには、必要な作業なので。

ハーブ山田…私はハーブ園のリニューアルにもかかわっていますので、目の前のことで一杯感じですね。

コンテナ山田…持ち場が正面入り口なので、ご来場の方々に声をかけていただけることが多く、そこにやりがいを感じています。あと小さいお子さんが

いらしたとき、「将来花好きになるかなあ」と、嬉しくなります。

ハーブ古賀…来園者に花壇に植わっている植物の名前を尋ねられてお答えしたりするのも楽しいですね。

コンテナ山田…イベントがあるときはご紹介したりとか。とにかく来園者と何らかの交流があると、とても嬉しいです。

フラワーランドの好きなところ

ハーブ古賀…各部会の方たちがそれぞれの方針で活動しているので、様々なアイデアや個性が集まって全体が成り立っているところが好きですね。

ハーブ山田…私は今は、ここが自分の好きな場所になるといいなと、自分が担当する場所の世話に励んでいるところです。

コンテナ山田…私はいろいろな花が好きなので、もうここ全体が好きな場所ですね(笑)。

今後チャレンジしたいことは？

コンテナ山田…道端などのコンテナの花が以前よりも気になるようになり、写真に撮って花の色のバランスなどを見て参考にしたりするようになってきました。それも含め、今よりももっと能動的、積極的にいろいろなことにチャレンジ

ジしていきけるようになりますね。

ハーブ山田…やっとの時期にどんな作業をするのが少しづつわかってきたので、それを誰が見てもわかるような資料にまとめていきたいと思っています。またハーブに興味を持ってくれる人が増えるといいなと思います、お友達が家に遊びに来てくれた際には、さりげなくハーブティーを淹れたり、お料理にハーブを使ったりするようにしました。

ハーブ古賀…私は世田谷区のまちづくりセンターで花づくり講習会の講師もするようになったので、その際に参加者にフラワーランドのことを話して興味を持っていただいたり、園では電話での園芸相談も受けているよとアピールしたり、花好きの輪が広がるように活動をしています。

…と、地域に花を愛する仲間が増えることを願いつつ、話を締めくくった。



都立砧公園の少し南にあるフラワーランドは、「花づくりを通して人と人がつながれる公園」。この「花づくり教室」で二年間学んだ修了生の有志でつくる「フラワーランド友の会」の方々を中心に、苗を種から育て、植え付け、日々の管理までおこなわれている。

正面入り口の花壇を担当するコンテナ部会の山田さん、ハーブ園を担当する古賀さんと山田さんの三人に、普段の活動の様子や、次世代につなげていきたいことなどについて、お話を伺った。



フラワーランド友の会

「ハーブ」「バラ」「コンテナ」など7の部会に分かれ、デザインから管理まで園内の四季折々の花づくりに取り組むボランティアグループ。「春の花まつり」などのイベント企画、開催の中心メンバーとして、また園内や地域で行われる園芸講習会の講師としてもその力を存分に発揮し活躍しています。

活動内容等詳細についてはこちら→



フラワーランド(区立瀬田農業公園)

フラワーランドは、花き園芸(観賞用植物の生産)を中心に、「花づくりのできる公園」として昭和61年に開園しました。区から財団が管理・運営を委託し、トラストボランティアとの協働による環境に配慮した循環型園芸の普及を日々実践しています。園内には観賞用の花壇や植え込みのほか、育苗室や園場・作業庭・講習室などがあり、花のあるまちづくり活動の支援センターとして園芸相談や園芸講習会を行っています。「フラワーランド友の会」など多くのボランティアの方々によって支えられており、またボランティアの活動拠点にもなっています。

フラワーランドの詳細についてはこちら→



ただいま「花づくり教室」31期生募集中！詳細はこちら→



【所在地】世田谷区瀬田5-30-1
【電話番号】03-3707-7881
【開園時間】午前8:30～午後6:00
(10月～3月は午後5時まで)
【閉園日】年末年始(12月29日～1月3日)
※園内管理のため、臨時休園する場合があります。

interview vol. 4
次世代へ
つないでいきたい想い

野鳥ボランティア



野鳥ボランティアは、区内の河川や大きい公園等で定期的に野鳥の調査をしたり、小学校や区民野鳥観察会等でガイドや講師などの活動をしています。



野鳥ボランティア
代表
堀出 美和子さん

野鳥ボランティア代表の堀出さんに、次世代につないでいきたい取り組み「Tプロ(Teaching & Training project)」について伺った。

Tプロ設立の目的は？

次世代育成の一つ目のプロジェクトは『土曜日』でした。野鳥ボランティアの活動日は元々、水曜だけでしたが、新しい人が入って来ず、高齢化しつつありました。そこで土曜日をつくり学生や現役世代が参加できるようにしました。活動日は違いますが、鳥の勉強を楽しみながら、まずは片足を入れていただき、ボランティア活動の足掛かりとしていただけたらと思っています。

二つ目のプロジェクトがTプロです。知るだけではなく人に話せるようになりたい、子どもたちへの話し方、ポイントなども勉強し合います。これまでに小学校や区役所、都立公園などから探鳥会の講師を依頼されてきましたが、屋外の観察会に加えて、室内

で講義をしてくださいと依頼されるケースも出てきました。もともと講義ができる人はメンバーに2〜3人しかおらず、早急に講師を育てる必要があります。嬉しいことに、一昨年から入会後まだ日の浅い人たちがTプロに手を挙げてくれました。小学生の授業のためのテキストを「子どもの理解力にあったものか」「学校の学習内容と齟齬はないか」など、それぞれの学年が興味を覚え、楽しく理解できる内容のものにしようというメンバーで練りました。

子どもにどう教えたら分かりやすいか先生たちにも相談し、各人の情報を共有し合いました。授業を重ねることに、自分の学んだことに加え、要らないところを削り、各自がテキストを作っていました。また、各々が教えあうことで、Tプロメンバー自身も大きく成長していくことができました。小学校からの要望にこたえる形で始めましたが、私たちの研鑽も積んでいっているといった形でしょうか。

その熱意はどこから？
つないでいきたいものは？

やはり、まず『鳥』が大好き。知れば知るほどめり込んでいきます。そし



Tプロ提案者
講師
山田 茂夫さん

小学校から依頼された最初の野鳥講義では、講義経験者がパワーポイントで教材を制作し、先生方に内容を確認していただいていた。幸運にも今年度も同様な要望がありましたので、この野鳥講義を野鳥ボランティアの皆が参加する活動にすべきであると考え、Tプロという形で希望者を募りました。

10人以上の希望者が集まり、前回の講義内容や関連する諸知識についての勉強会などをおこない、練習に練習を重ねたうえで、7名が分担して3学年、10クラスの授業を担当しました。苦勞のかいもあり、児童たちの反応は予想以上で、真剣に講義を聞き、歓声を発したり疑問を投げかけたりと、しっかり児童たちの心に沁み込んだ事が確認できました。これは講師である私たちにとつての感動でした。更に翌年には、説明者が独自の表現をしたいと、教材を一部変更するケースも続出し、講義教材を自分のものに消化して自分自身の言葉で説明するという理想的な段階に達したと思われまます。今後参加者たちが自発的に企画を考える、前向きな雰囲気が続き、より良い講義を提供できる集団になる事を期待しています。



活動の意義は？

趣味の域に留まらず『資すること』があると思います。具体的には、定期的に野鳥を調査することで、地域の環境活動に役立つこと、また子どもたちに、鳥を通じていろいろなことを教えてあげられることです。私たちの活動に興味を持ってくださった方、ぜひ活動への参加をお待ちしています。

先輩からのバトンを受け取った後輩たちは？

Tプロメンバーに、活動のよろこびや、やりがいなど、コメントをいただきました！



鳥の愛らしさと自然の豊かさを伝えていきたいです。(高梨さん)

ずっと憧れだった教壇に立つことができ、嬉しい体験でした。(高田さん)

子どもたちの反応と何が知りたいのかが直に感じられたことが嬉しかったです。(横川さん)

子どもたちの反応のよさと関心の高さが大変嬉しかった。(堀越さん)

もうすぐ中学生になる子どもたちに「渡り鳥」を通じて、少しでも「夢や目標」を持ってもらえるよう工夫してみました。(猪瀬さん)

野鳥ボランティア(トラストボランティアグループ)

野鳥に興味をもち、その生態を調べることで、私たちの住む世田谷の自然環境の豊かさや、変化がわかってきます。野鳥ボランティアの活動の「調査・報告」は、それを具体的に把握し、皆さんに知っていただくためのものです。さらに「ガイド」「保全」を通し、自然環境の生物多様性の大切さを知り、持続可能な形で次世代に引き継いでいけるよう活動をしています。

- 主なフィールド=主として世田谷区内の河川や公園(多摩川、野川、仙川、砧公園・駒沢オリンピック公園・羽根木公園など)
- 活動拠点=世田谷トラストまちづくりビジターセンター(世田谷区成城4-29-1)
- 活動日=水曜日、土曜日など

詳しい活動内容についてはこちら→



▲小学校での野鳥講義

情報発信はこちら

SNSや財団広報誌にて、イベント案内や活動の様子などを情報発信しています

会員にご入会で、左記財団広報物を定期的にお届けします！

財団広報物

※発行後、図書館、まちづくりセンター等に配架されます。二次元コードより、最新号、バックナンバーをご覧いただけます。



トラスト*イベントカレンダー

【年4回】3、6、9、12月発行
自然観察会や園芸講習会、オープンガーデンなど様々な催しを紹介。



ひと・まち・自然

【年1回】12月発行
みどり保全やまちづくりなどの特集ページのほか、財団の様々な情報を掲載。



トラまちTopics

【年2回】3、9月発行
財団の取り組みや成果を半期に分けて報告しています。

メールマガジン

お申し込みは
右記二次元コードから



【月1日(毎月上旬)発信]

※購読のご登録は上記二次元コードから

SNS等

※随時配信



X(旧Twitter)



Instagram



Facebook

みんなの声

財団情報誌「ひと・まち・自然」Vol.22「特集 ふらりと、訪れたい場所」のWEBアンケートに寄せられたコメントを、ほんの一部ですがご紹介します。

世田谷区の歴史や自然に関して知れる冊子でいつも楽しみにしています。(世田谷区・40代)

さまざまな活動をなさっていて、地域の魅力が満載。また何かの機会があるとうれしいです。よろしく願いいたします。(宮城県・40代)

視覚的親しみやすさと情報の多さの両立は難しいですが、情報の質との両立はできると思います。(世田谷区・70代)

以前より内容が充実して、楽しく読ませて頂いています。自然への関心が深まりこれから一層大切にしたいです。(世田谷区・70代)

世田谷は自然が多く大切に守ってきたいものです。近い内にトラストまちづくり会員になりたいと思います。(世田谷区・50代)

カラーの写真が効果的で、世田谷の建物や地域を知る導入編になった。(入間市・60代)

普段だと見過ごしてしまうような、身近なところにある歴史的建造物を知ることができるので、とてもいいと思います。(世田谷区・60代)

多数のコメントをお寄せいただき、ありがとうございます！

「ひと・まち・自然」WEBアンケートにご協力いただいた方に、財団オリジナルグッズをプレゼント！

より魅力のある情報を発信するため、ぜひ、読者の皆様方のご意見やご感想をお聞かせください。

※回答期限:2025年5月7日

当財団にお寄せいただいた個人情報は、財団からのプレゼント発送のために利用します。取得した個人情報は、法令に基づく場合または本人の同意がある場合を除いて第三者に提供することはありません。また委託する際は、利用目的の範囲内で適法にこれを行います。開示請求等の場合は、個人情報保護管理者:(一財)世田谷トラストまちづくり管理課長(電話:03-6379-4300)までお問い合わせください。

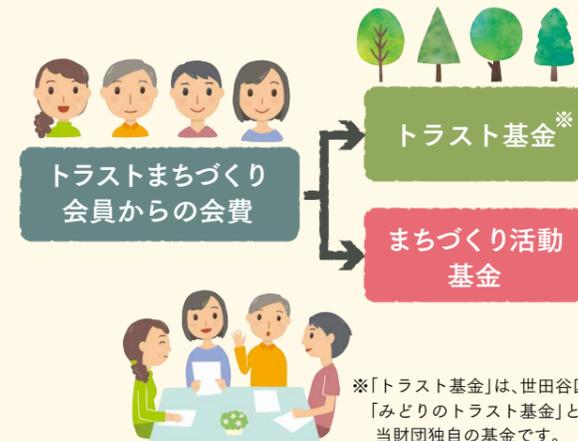


上記二次元コードより
ご回答ください

トラストまちづくり会員制度のご案内

私たちの身近にある自然や歴史的・文化的な環境を守り育み、また世田谷ならではの住民主体のまちづくり活動の人材育成、資金助成、居場所づくり支援などを進めていくためには、多くの皆様の支えが何よりも大切です。

当財団の活動のサポーターとして、ぜひ会員へのご入会をお願いいたします。会費や寄附金につきましては、上記の活動を進めるために大切に使用させていただくとともに、その用途につきましても財団ホームページ等で開示してまいります。



会費の使途を以下の3つから選択することができます。

- 1 **トラスト基金** (世田谷区内の自然や歴史的・文化的な佇まいを守る費用)
- 2 **まちづくり活動基金** (区民主体によるまちづくり活動を支援する費用)
- 3 **おまかせします** (上記の2つの基金にそれぞれ1/2ずつ入れさせていただきます。)

会員になってトラまちの活動を応援したい方

■トラまちの活動サポーターになりませんか？

会費や寄附金につきましては、活動を進めるために大切に使用させていただきます。実績につきましては、財団ホームページをご参照ください▶



■会員特典

- ① 会員証発行(会員証の発行は、3月中旬になります)
- ② トラストまちづくり情報誌等の送付
- ③ イベントへの会員参加優先権
- ④ イベント参加費の割引
- ⑤ 当財団オリジナルグッズの割引

■会員の種類(年度制)

個人会員《対象：個人》

1年会員：1口1,000円

3年会員：3口3,000円

家族会員《対象：本人及び同居されているご家族》

1年会員：1口2,000円

3年会員：3口6,000円

ご入会キャンペーン

期間中、下記のお手続きをされた方に当財団miniエコバッグをプレゼント！

2024/12/1～2025/4/30まで

●新規で会員に入会された方

- ・家族会員は、会費を1,000円割引
- ・有効期限を次年度末まで延長

●3年会員(1年から3年会員に変更された方)

- 自動振替(自動引き落とし)をお申し込みの方
- クレジットカードでのお支払いをお申し込みの方

※キャンペーン期間中に個人会員から家族会員へ変更の方は1,000円割引

お申し込みは右記二次元コードから



ボランティアで活動したい方

ボランティアとして活動いただける方を随時募集しています！

詳しくは財団ホームページをご覧ください



天ビジターセンターに

おいでよ!

ビジターセンターでは、
お子さまも気軽に
世田谷の自然と触れあえる
プログラムやイベントを
開催しています!

季節の展示

季節ごとに、植物や生きもの
などについて展示しています。
詳しくは「ヤモリ通信」から⇒



上映会

カマキリやカブトムシなど、生きものや
環境をテーマにした映像を、シアター
ルームで鑑賞できます。
(毎週土曜日①午前10時～②午後3時～)
※一ヶ月ごとにテーマが変わります。

トラまちレンジャー

トラまちレンジャーに登録(無料)して、世田谷の自然を
楽しもう! スタンプを貯めると、プレゼントがもらえるよ!
プログラム例: 鳥探しBINGO、野川さかなつりゲーム、
生きものぬりえほか、季節ごとのプログラムも!

ほかにも

図書コーナー

自然やまちづくりなどの
書籍、絵本もあるよ!

クッキーやパウンドケーキ、 オリジナルグッズ販売

など盛りだくさん!

ビジターセンター詳細は
下記二次元コードから
(財団ホームページ)



世田谷トラストまちづくり ビジターセンター

〒157-0066 世田谷区成城4-29-1

電話: 03-3789-6111

F A X: 03-3789-6114

開館時間: 午前9時30分～午後4時30分

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌平日)、
年末年始(12/29～1/3)

交通: 小田急線喜多見駅より徒歩13分
成城学園前駅より徒歩17分

ビジターセンター



野川沿い、
オレンジ色の
屋根が目印!



一般財団法人 世田谷トラストまちづくり
SETAGAYA TRUST & COMMUNITY DESIGN

2024年12月発行
〒156-0043 世田谷区松原6-3-5
Tel 03-6379-4300(代表)
Fax 03-6379-4233



【財団ホームページ】
世田谷トラストまちづくり
<https://www.setagayatm.or.jp/>

Facebook



X(旧Twitter)



Instagram

